

御影石造りの洋式灯台 角島灯台



— 青空に映える石造灯台に登ろう！ —

角島灯台は下関市豊北町北西部の海上に浮かぶ島、角島の西端に建設されました。高さ30mの石造灯台であり、「日本の灯台の父」と呼ばれたイギリス人技師R. H. ブラントンが帰国直前に完成させた灯台です。灯台の入り口、上部の花崗岩(御影石)には細部まで細工が施されています。この角島灯台は下関市の文化財に指定されています。

灯台建設と同時期に旧退息所と倉庫はレンガ造で造られました。現在、このうち退息所は灯台記念館として整備されています。灯台周辺には下関市により角島灯台公園が整備され、憩いの場となっております。

角島灯台では航路標識事業の周知啓蒙のため、公益社団法人「燈光会」により参観事業を実施しており、灯台の上まで登り景色を楽しむことができます。資料展示室も併設され灯台の歴史などを知ることができます。ぜひ、角島灯台に足を運んでみてください。

お問い合わせ先

公益社団法人 燈光会 角島支所

TEL 0837-86 - 0108

HP <http://www.tokokai.org/archive/data/index.html>

参観時間:9:30~16:30(5月~9月)

9:00~16:00(10月~4月)

管理事務所:門司海上保安部

住所 福岡県北九州市門司区西海岸1-3-10

TEL 093 - 321 - 3215



ライトアップの様子

角島灯台の要目

所在地	山口県下関市
点等年月日	明治9年3月1日
光り方	単せん白光
	毎5秒に1せん光
光達距離	18.5海里(34.3km)
高さ	30m
	(地上から構造物の頂部まで)



☆灯台150周年

日本初の洋式灯台である「観音埼(かんのんさき)灯台」(神奈川県横須賀市)は、明治元年11月1日に起工されました。平成30年はそれから150周年の節目を迎えます。



インフラ
ツーリズム